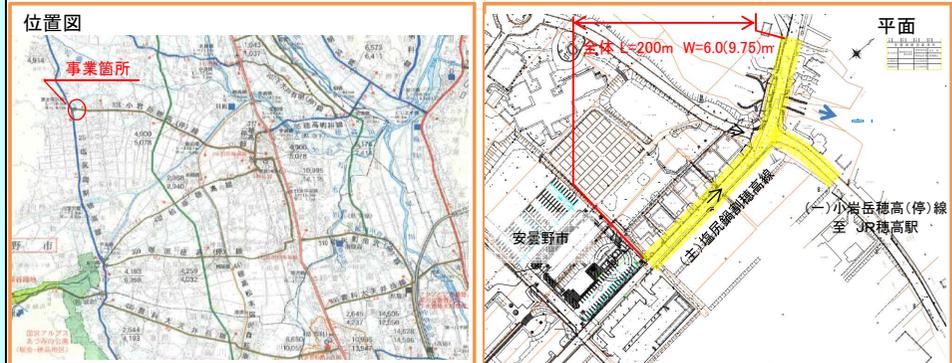


(様式2)新規評価シート

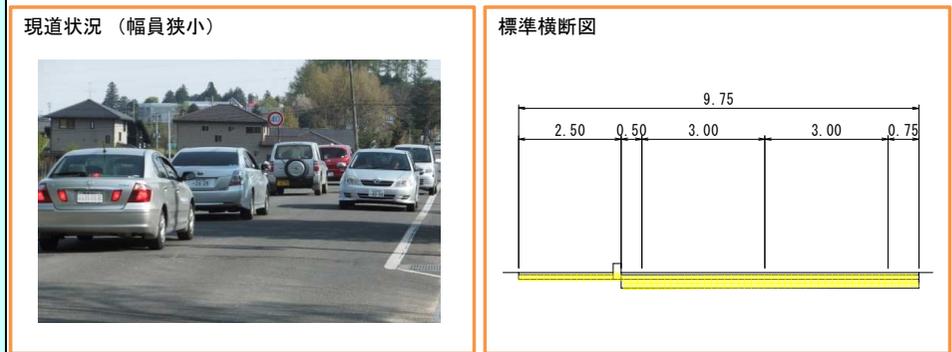
建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(主)塩尻鍋割穂高線		
事業毎の通番	13	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	豊里(とよさと)	
事業目的	本路線は、塩尻市を起点として安曇野市に至る道路であり、中信地区の西側を南北に結ぶ幹線道路となっている。このうち、安曇野市穂高豊里区においては、(一)小岩岳穂高(停)線との交差点部において、見通しが悪く、幅員狭小となっていることから、すれ違いが困難な箇所があり、安全な走行に支障が生じている状況である。このため、縦断線形不良、交差点の食い違いの解消し、安全で安心な交通網の形成を図りたい。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	地域戦略推進型公共事業					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 5,565台/日					
着手年度	平成30年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	1.9	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工程)	道路拡幅工 L=200m、W=6.0(9.75)m		250,000		225,000 25,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	交通事故の減少				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画交通量: 5,565台/日 ○代替道路の有無: 安全性の高い代替道路(広域農道、国道147号)がある ○医療・福祉・教育施設との連携: 安曇野市しゃくなげの湯、ありあけ温泉デイサービスとの連携が発揮でき ○交通結節点アクセス: 穂高温泉郷等の活性化に資する ○観光振興・地域の活性化: 穂高地区の活性化に資する			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合: 地域戦略推進型公共事業 ○緊急輸送道路の路線指定: 安曇野市避難経路 ○地域指定: 豪雪地帯、積雪地帯			評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C): 1.88 ○事業期間: 6年間 ○工法等の比較検討: 工法比較によりコスト縮減について検討予定 ○他事業との連携: 地域戦略推進型公共事業			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数: 3件(H26:1件、H28:2件) 人or自転車×自動車事故発生 ○道路環境改善: 局所的な危険箇所の改善 ○歩道整備: 通学路対策(スクールバス路線) ○現況の車道幅員、半径、勾配: 車道幅員5.0m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有: H29.6 関係区長(豊里区)へ説明、H29.7 関係地権者へ通知文により周知 ○地域の取り組み: H28.9、H29.9、安曇野市、豊里区から要望 ○地域の合意形成: H29.9~10 関係地権者へ事業計画を周知、事業目的について合意が得られている ○住民との協働: なし			評価	B
		部局意見	事業の必要性、重要性が高いため、平成30年度から事業化したい。		採択状況	総合評価
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。					

【位置図、平面図、構造図等】



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)塩尻鍋割穂高線は、塩尻市を起点として安曇野市に至る道路であり、中信地区の西側を南北に結ぶ幹線道路となっています。通勤通学や観光地等へのアクセス道路として利用されている。このうち、(一)小岩岳穂高(停)線との交差点部においては、見通しが悪く幅員狭小であることから、安全な通行、通行車両の円滑な走行に支障が生じている。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H28.9 H29.9 安曇野市及び豊里区から要望あり。
	③事業説明等の経緯	H29.6 関係区役員への説明実施 H29.7 関係地権者へ通知文により周知
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	地域戦略推進型公共事業(「安曇野」自転車を活用した観光振興)
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	自然環境への配慮として、土羽構造を基本とする。
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交差点の交通安全、交通の円滑化が図られ、安曇野市穂高地区の地域活性化も期待される。
	⑦その他	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 137° 50' 23" 東経:E 36° 20' 57"